

【事業名】 車載LIBの小型モビリティへのリユース実証事業

事業者名：ヤマハ発動機株式会社/REVortex株式会社

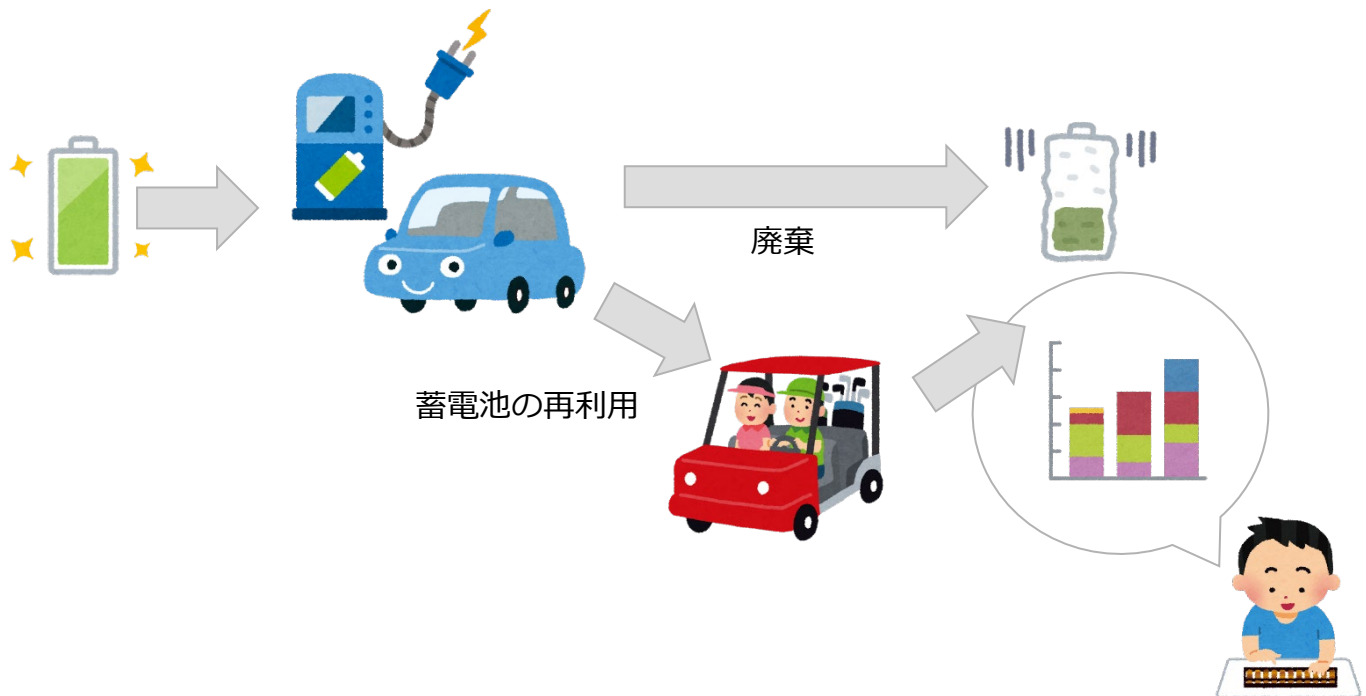
実施期間：令和6年8月～令和7年2月

1. 事業の背景・目的

- ・蓄電池の循環型経済の実現には、“モノ”と“データ”が循環することが重要である。
- ・1つの蓄電池のモノの価値をリユースによって何重にもする仕組みづくりを検討した。
- ・量的規模の大きい自動車に比べ小型モビリティの電池はコストが高くなる傾向にあり、普及の障害になっている。そこで中古の自動車用蓄電池を他の商材へ循環することでリユースとコストダウンの両立を検討対象とした。本実証事業において効果を検証する。

2. 補助事業の概要

- ・中古価格の安い車種、かつ「良い」バッテリーの車両を購入し提携／出資先での解体とモジュール化を行い、自社工場で再構成し小型モビリティに転用する。このビジネスモデルを実現するにあたり中古バッテリー調達コスト等の明確化と収支の検証を行う。



成果

- ・電池を再利用したゴルフカーを試作し走行実証できた。
- ・中古の自動車用蓄電池を活用することで、コストを大幅に削減できる可能性があることがわかった。

課題

- ・ゴルフカーの実運用での電池寿命把握
- ・中古蓄電池を利用する際に必要な情報を把握できる仕組みづくり
- ・中古蓄電池の調達から最終処分までのプロセスの構築